

ある駅のホームの横にあるこの家では、平筑から降りた人たちをかわいい汽車がお出迎え。「いつもきれいなイルミが見られてうれしいです」と乗客にも好評です。



孫が喜ぶのでイルミネーションを始め、やっているうちにだんだん自分たちも楽しくなってきたと語る奥さん。旦那さんが手に入れた4mの竹を利用したツリーが特徴。



ポイントは大きなトナカイさんとはしごを登るサンタさん。ブルーの光はまるで銀世界、道行くたくさんの人を楽しませています。お隣さんのツリーもきれいですね。



よその家のイルミネーションを見てお子さんが「うちもして!」と言ったのがきっかけ。家の敷地のほぼすべてに電飾を配置し、庭も心も明るくなったようです。



「明るい町にしたい」という思いが込められたこの家のイルミネーション。ブランコに乗ったサンタクロースは、子どもたちにも大人気だそうです。



車道沿いに立ち並ぶ家々が美しい電飾をまとい、運転中にも思わずうっとりしてしまいます。明るく照らされた大通りは、まさにイルミストリートですね。



「お宅訪問」アボなし突撃取材。

町で見かけたすてきなイルミネーション

「こんばんは」広報ふくちです。

ひょっとして、このページを開いているいま、お昼かもしれませんが、この特集では、神秘的なふくちの夜をご覧ください。

夕闇に瞬き、キラキラ夜道を照らし、みんなの心を躍らせたイルミネーション。すてきに飾られたお宅を町で見かけ、その光りに招かれるように訪問させていただきました。この感動をみなさんにお届けできるよう、心を込めて光りを封じ込めました。

今回は住所も名前もあえて掲載していません。

「あれっ、ここは、どこのだれの家?」と思う人がいるかもしれませんが、ぜひみなさんの心の中に残るイルミネーションと静かに照らし合わせてみてください。そしてまた「こんな電飾がこの町にあるんだ」という発見の中にはあるはず。

それぞれで幻想的な光りの家をお楽しみください。

あえて色を多く使わず落ち着いた光を表現するというこだわりを見せるイルミネーションは今年で9年目。ご家族で手作りしたオーナメントの数々が優しく光ります。



家族みんなで、どんな風にしたらきれに見えるかを考えながら飾り付けたという大規模なイルミネーションは、今年で6年目。テレビでも放送されたことのあるこの美しい光を見に、この日も友だちやご近所のかたが訪れていました。

